

授業科目名・形態	ソーシャルワーク論Ⅵ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	白男川 尚	開講期	3年後期	単位数 2

【授業の主題】

相談援助に活用される様々な技術とその実際を学習することを目的とする。特に、様々な事例における相談援助の実際について、個人情報保護やIT危機の活用を含めた実践的な知識の獲得を目指す。

【達成目標】

様々な事具体的な課題別の相談援助実際について分析を行い、それらの事例に関する相談援助の実際を理解すること、様々な相談援助活動の中で、個人情報保護法に基づく個人情報の取り扱いについて理解すること、ITを活用した相談援助の実際について理解することを到達目標とする。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 相談援助と個人情報
- 第3回 個人情報保護法の概要とその運用
- 第4回 相談援助におけるITの活用
- 第5回 事例分析の意義と目的、その方法
- 第6回 様々な事例における相談援助の実際Ⅰ 社会的排除
- 第7回 様々な事例における相談援助の実際Ⅱ 虐待
- 第8回 様々な事例における相談援助の実際Ⅲ D.V
- 第9回 様々な事例における相談援助の実際Ⅳ ホームレス
- 第10回 様々な事例における相談援助の実際Ⅴ 危機状態にある事例
- 第11回 事例分析Ⅰ
- 第12回 事例分析Ⅱ
- 第13回 事例分析に基づく支援計画Ⅰ
- 第14回 事例分析に基づく支援計画Ⅱ
- 第15回 まとめと振り返り

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

関連する科目の講義内容で学んだ制度等を再確認しておくこと。

【教科書等】

新・社会福祉士養成講座7「相談援助の理論と方法Ⅰ」第3版 中央法規出版

新・社会福祉士養成講座8「相談援助の理論と方法Ⅱ」第3版 中央法規出版

*回によりテキストが前後する。使用するテキストについては、随時連絡するので注意すること。

【参考文献】

講義の中で随時紹介する。

【成績評価方法】

- 1)筆記試験 85%
- 2)出席点 15%

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ

【学生へのメッセージ】

地域生活を支えるため、各関係者がどのような取り組みを展開しているか、社会的な関心を持ち、積極的かつ主体的に受講してほしい。予習・復習を着実にやること。